

意見シートで受領した意見への対応方針

第2次那覇市観光基本計画策定支援業務委託

有限責任監査法人トーマツ

2024年12月20日

意見シートでの指摘事項

意見シート（12/18）で受領した意見・質問に対して、以下の通り対応いたしました 指摘事項

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	記載者	対応状況
1	第2章 (P18)	<ul style="list-style-type: none"> グラフX「沖縄県・那覇市における平均宿泊数」の棒グラフの色が、沖縄県と那覇市で逆ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ グラフの凡例を修正する 	山口 委員	対応
2	第3章 (P38)	<ul style="list-style-type: none"> 「交通結節点」としておもろまち駅下のロータリーを入れないのか。以前から（いつの時点から）なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 交通結節点に関しては、主に柱1で掲載している取組概要との関連性を勘案し想定しているもの。沖縄のゲートウェイとして、空港やクルーズターミナル等から市内中心部、市内外への周遊との交通結節点を設定している。 	山口 委員	対応 不要
3	第3章 KGI・KPI (P35～36)	<ul style="list-style-type: none"> 柱1（ウ）KPI「那覇市におけるMICE開催件数」について、目標設定が高いように感じる。目標値の算出方法はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 算出方法を見直し以下の通りとしております。 ・ 2029年：380件 2034年：411件 ・ 411件の内訳「M：82件」「I：131件」「C：90件」「Ex：17件」「Ev：91件」 ・ 【算出の考え方】 ・ 那覇市過去最高の開催件数2018年(380件)を2029年までに達成する。 ・ 2029年以降の増加件数は、2024年の開催件数から2029年目標件数までの増加率（0.031）を踏まえ、M～Ev毎に2034年の開催件数を算出しました。 ・ 算定に際して、開催施設の稼働率など把握していないため、M～Evのうち、過去最高の2018年の開催件数に達していない「I・C」のみ開催件数が2034年まで伸び、「I・C以外」は2029年から一定と仮定し、算定しております。 	徳田 委員	対応
4	第3章 KGI・KPI (P35～36)	<ul style="list-style-type: none"> 柱4（ア）KPI「JSTS-Dに係るアセスメントを踏まえた課題対応件数」について、JSTS-Dにおける評価項目の数に対し、目標値の課題対応件数が少ないと感じる。目標設定において想定した課題について教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 特定の課題を想定したのではなく、JSTS-Dアセスメントを踏まえて継続的に課題対応をするということを目指しており、目標値は単一で3件と設定している。 	徳田 委員	対応 不要

意見シート（12/18）で受領した意見・質問に対して、以下の通り対応いたしました 指摘事項

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	記載者	対応状況
5	第2章（P13）	<ul style="list-style-type: none"> 本文3行目「国内客及びインバウンド客の双方において、コロナ前水準まで回復してきています。」とあるが、インバウンド客については、コロナ前水準には戻っていない。（2019年度比：5割程度）「国内客については順調に推移しており、インバウンド客についても段階的に回復してきている。」が適切ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘の通り「<u>国内客については順調に推移しており、インバウンド客についても段階的に回復してきている。</u>」に更新する。 	山田委員	対応
6	第4章 柱1（ア）（P43）	<ul style="list-style-type: none"> 取組概要3ポツ目「那覇空港や那覇港等での販売を促進」とあるが、局所的な販売促進に注力する面が強く感じる。当該エリア外の事業者からの「なぜ空港・港だけなのか？」を回避するため、「市域全体の物販と併せて那覇空港・那覇港等での物販促進に注力します。」のようにした方が良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘の通り「市域全体での物販と併せて、那覇空港・那覇港等の<u>交通結節点周辺での</u>物販促進に注力します」という記載に変更する。 当該基本施策は<u>交通結節点での物販等消費単価向上</u>に取り組むことが主な目的であるため、交通結節点を強調する。 	名嘉元委員	対応
7	第4章 柱2（ア）（P47）	<ul style="list-style-type: none"> 取組概要4つにかかわる開発・充実・創造・磨き上げ・促進等の取り組みは、すべて那覇市観光協会が関わるもの、関わるべきものと考えているが、記載が2つとなっている。なぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘の通り、実施主体への記載がされていない部分に関して、<u>追加更新する</u>。 	名嘉元委員	対応
8	第4章 柱3（イ）（P51）	<ul style="list-style-type: none"> 「効率化・高付加価値化」について、示された取組概要の説明記載では「稼ぐ力」の向上に結び付けるには難があると感じる。特に取組概要4ポツ目では現行の行政サービスや補助（委託）事業にとどまっており、高付加価値化の施策イメージができない。「稼ぐ力」に繋がる別の具体的な施策例の記載が良いと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 取組概要の3つ目で高付加価値化に係る取組を記載している。 他方でご指摘の通り、現状の記載では「稼ぐ力」に直結するような記載が不足しているため、「<u>及び、高付加価値化を見据えた観光コンテンツの創出・磨き上げ支援や収益力向上に繋がる施設改修等の取組を推進します</u>」という記載に変更する。 	名嘉元委員	対応

事前意見シートで受領した意見・質問に対して、以下の通り対応いたします

指摘事項

#	議題	意見・質問	対応方針（案）	記載者	対応状況
9	第4章 （全体）	<ul style="list-style-type: none"> 「教育旅行（国内及び訪日）の誘致・受入の強化」に関する施策が見当たらない。特に従前より沖縄は平和教育等で選ばれている地域なので施策の強化を図った方が良いと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 「教育旅行」については、全域的なものとして沖縄県とOCVBが大きく事業展開していることもあり、本計画では柱4（イ）取組概要2ポツ目の包括的な記載にとどめる。 	名嘉元 委員	対応 不要
10	第4章 （全体）	<ul style="list-style-type: none"> 「外国人観光客（インバウンド）」については、受入体制の整備・強化としての施策表記に限定されている。本計画の目標値KGI・KPIにもインバウンド関係は大きく関与すると記載していることや、国を挙げて今後重要としている「インバウンド誘致・プロモーション」に関する施策が本計画で見当たらず、柱2（イ）「データに基づく誘客戦略…」に丸められえていて重要性が示されていない。「インバウンド誘客に向けた積極的アプローチやプロモーションの展開」といった施策の記載が必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> インバウンド誘致に向けたアプローチやプロモーション展開といった施策は「教育旅行」と同じく、全域的なものとして沖縄県とOCVBが大きく事業展開していることもあり、本計画での具体的な記載は包括的な記載にとどめている。 また、柱2（イ）においてはインバウンドに特化した記載ではなく、あくまで包括的な内容にとどめ、「今後磨き上げたコンテンツの特性やターゲットを踏まえて、個別にプロモーションの最適化を行う」等、記載内容の充実化を行う。 	名嘉元 委員	対応 不要